

先人より、1・2年生の未来のために

進路体験発表会

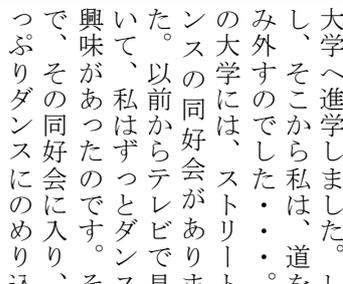
一月二十五日(木)の五・六校時、進路体験発表会を実施しました。一・二年生が卒業生や三年生の進路に関する体験談を聴き、将来の方向性・職業観などについての意識を深めることを目的に行いました。まず卒業生の石田奈保子さんから、どんな仕事をしているか、どのような経緯で進路を決めたかという話のあと、二

校を休まない」「資格はできるだけ多く取った方がいい」「何事にも前向きに」等、先輩達への助言がありました。三年生からは就職・進学についてのどのような取り組みをしたか、試験に合格だった時の気持ち、合格した時の気持ち、お世話になった先生方への感謝等、個人の体験や心境を先輩達へ伝えてくれました。一・二年生も先輩方の話を真剣に聴き、発表会後の感想文では、「資格取得を頑張りたい」等、前向きな感想が多数見られました。一・二年生には有意義な時間と

湖南高校のみなさん、こんにちは、栗生千絵子です。今日は、私が教員という職業に就いたときのお話をしようと思います。中学高校時代の私は英語が大好きで、映画の「ホームアローン」や「ス



「死に勉強し教育学部のある先生になりたい」と思い、必死に勉強し教育学部のある



「死に勉強し教育学部のある先生になりたい」と思い、必死に勉強し教育学部のある



質問をする2年生



卒業生からのアドバイス

ず大学を卒業したのでした。(本当に親泣かせなことをしました。)それから何をしたらかという時、大学時代に始めていた焼き肉屋(福島駅西口にありました。)でのアルバイトを続けていました。そう、今で言う「フリーター」の生活を送っていたのです。昼は焼き肉屋店員、夜はダンスの練習、そしてときどき発表もしていました。いつかは東京進出をと目論んでいました。しかし一年ほど経つと、なぜか段々と、あんなに好きだったダンスが、楽しいものではなくなりました。周囲は企業に就職をした



を、救いを求めるように読み漁りました。それらの本からヒントを得、私はとにかくそのアルバイトに本気になって取り組むことにしました。接客の仕事をしていたので、接客に関する本を読んで研究したりもしました。仕事の手順について(具体的に言うと開店前の掃除の順番について)、お店に提案したりもしました。そんなフリーター二年目の冬、転職が訪れます。私の高校時代の恩師がセンター試験を伝えるニュースを見て私を思い出し、私に電話をくれたのでした。その内容は、大学を卒業したのに就職もしていない私を心配してのものでした。そこで現状を恩師に話すと、私が大学で教員免許をとっていたことから、講師を始めてはどうかという話がありました。そしてその四月から、私は講師として自宅から通える高校、しかも母校の教壇に立つようになっていきました。本当に自分としては、人生が救われた、という気持ちでした。そして、恩師のように、人を良い方向に引っ張っていき、そう思い、な人になりたい、そう思い、講師から教諭を目指し始めました。そこから六年講師を続け、六回目の教員採用試験でようやく合格することができました。この経験から、私の教訓になっ

↑
学校ホームページ
の高見ます
のメニュー
だるよこと
校見ること
ます。PC版
ください。

★2学期末考査学習時間トップ5★
(テスト期間10日間の合計)

1位	YSさん	71.0時間
2位	DSさん	70.0時間
3位	MYさん	67.0時間
4位	MSさん	66.0時間
5位	SKさん	54.0時間

りこ・レベル二〇) 何かも忘れるほど夢中になって、一生懸命取り組んでみませんか?(栗生千絵子・くりうちえこ・おど